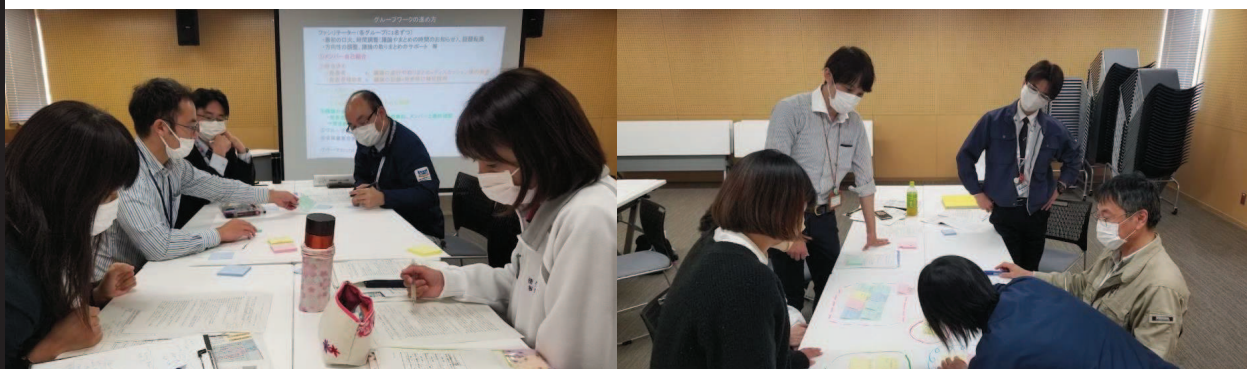


自分ごとの居住支援
～豊後大野市居住支援協議会から届けます～



大分県 土木建築部 建築住宅課 主幹 辰本健治

大分県内の動き・・・(市町村・地域・県)

「知らない(周知不足)」

「よく分からない・必要?(理解不足)」

「忙しい・余裕がない(人手不足)」

「どう進める?何から始める?(経験不足)」

最初は手を引き、伴走し、後押しし、支える

- ・居住支援に関する取組や居住支援協議会の**要否**は、「個」(個人・一つの部署・一つの組織)で決めることではない。判断するだけの知識・経験・情報は「個」にはない。



一つの団体や機関では
要否は判断できない！

- ・まずは、関係者で集まって、現状の意見交換をおこない、課題を共有し、既存の団体・組織や制度、ひと等で十分な対応が可能かどうか含め、多角的・重層的に検討・判断することが必要。



会議をすることは目的ではない！
集まって真剣に議論して判断に
導くことが重要！

おおいたらしい居住支援の進め方～ネットワーク会議～

- 関係者それぞれの情報・知識・経験・事業・制度等を**知る**
(第1回ネットワーク会議)
→ 出来る限り幅広い関係者による事例紹介～相互認識・理解が目標
- 具体的な事例に沿って、出来ること・出来ないこと・足りないこと等を一緒に考え
これから何が必要か、何をすべきかについて**共通認識・目標を持つ**
(第2回ネットワーク会議)
→ グループディスカッション～現状の体制・仕組みの限界認識と目標設定
- 個別の団体・関係者ごとに打ち合わせ、**調整を図る**
- 体制・支援策・事務・予算等について包括的に協議し**方針を決定する**
(例：居住支援協議会設立準備会・第3回ネットワーク会議)
→ 先進協議会と意見交換や協議会構成・事務局・予算・会則等の検討
→ 協議会設立等へ向けた具体的な体制や作業、展開の決定
- 協議会設立・予算要求等を通して、**支援を実施する**

「居住支援」の捉え方
～令和3年から皆で共有してきたこと～

福祉 ⇒ 暮らしの支援

(高齢者、障がい者、子育て、生活保護、困窮等)

住宅 ⇒ 住まいの支援

(公営住宅、賃貸住宅、空き家、不動産等)

地域 ⇒ 生活・繋がりの支援

(見守り、買い物支援、民生委員さん連携等)

優先・上位等はなく、
並列に同時に
進めていくこと



居住支援は「住まい」の支援ではない！！
「住まい」と「暮らし」の支援が必ずセットで、その後の孤立化・孤独化しない
「地域との関わり・居場所」も必須！！

まち(地域)と一緒に生きていく・地域の将来を一緒に描く

居住支援を「まちづくり・地域づくり」として捉える

第1回～第4回居住支援ネットワーク会議in豊後大野・設立総会
開催状況

第1回(参加38名)相互理解



第2回(参加25名)共通認識



第3回(参加30名)共通認識



第4回(参加30名)体制整備

R5.1.30 豊後大野市居住支援協議会設立総会
※大分県内2番目の協議会として設立

福祉団体、社協・地域包括、宅建業者、民生委員、大学、地域、
市(建設、社会福祉、高齢者福祉、子育て、まちづくり、人権、教育)、
財団、清川町仕掛人会、県の関係者にて構成
(社会医療法人 関愛会も参加)

協議会設立までのステップ (その地域の呼吸に合わせた進め方)

課題・認識共有～ネットワーク形成

体制整備へ向けた合意形成～体制確立

支援推進



4～6月	8月5日	11月4日	11月12日	7月1日	10月19日	11月24日	1月30日	3月	4月
事前アンケート・個別調整	第1回ネットワーク会議	第2回ネットワーク会議	おおいた居住支援フォーラム in 豊肥 2021	第3回ネットワーク会議	居住支援セミナー・相談会	第4回ネットワーク会議 ↳協議会設立準備会↳	居住支援協議会 設立総会	補助金(国費)申請	1年先行している竹田市協議会も参考に支援推進

市と県の初回打合
R3.4.15

655日

人が変わっても持続する仕組み
～皆が相互に役割を担い、支え合う体制～

キーパーソンを軸とした取組～協議会運営

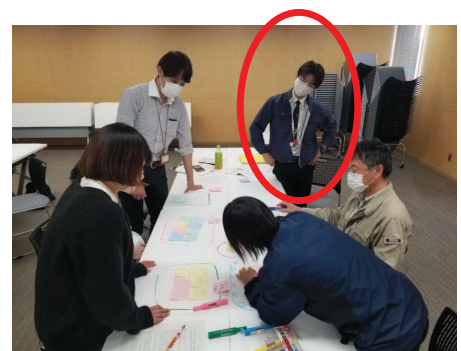
①豊後大野市(佐藤慎也 係長)

- 福祉分野にも長年携わり、福祉を知った上で住宅含めた建設部門を担当市町村職員ならではの、経験値!強み!!



住民の意識醸成のためのR3居住支援フォーラムではパネリストとして居住支援を語る

ネットワーク会議では取りまとめ役として関係者へ方向性を示す



※ネットワーク会議から市も主体の一つとして活動

キーパーソンを軸とした取組～協議会運営

①豊後大野市(佐藤慎也 係長)

■共同事務局としての協議会運営

初年度は、まずは2つの部会
「広報部会」・「空き家部会」

※佐藤慎也係長は、
「広報部会」に軸

※地域のデザイナー
とのネットワークを活用



※日常的に地域と繋がりの深い、市町村のキーパーソンの主体性が重要

キーパーソンを軸とした取組～協議会運営

②社会福祉法人偕生会(浅倉施設長)

※養護老人ホーム常楽荘 施設長

- 福祉の最前線、現場の支援者(社福の強み)
- 福祉のスペシャリスト(いつも笑顔)
- 属性等で分けしない、1人1人を支援!

くすのきハウス1 (民家)



リビングと居室1



台所

※個別支援～本人の気持ちに寄り添った支援～を自然体でありのままに・・・

キーパーソンを軸とした取組～協議会運営
②社会福祉法人偕生会(浅倉施設長)



キーパーソンを軸とした取組～協議会運営
②社会福祉法人偕生会(浅倉施設長)

■共同事務局としての協議会運営
主に「空き家部会」「人の繋がりづくり」に軸



保護司との意見交換会

ごちゃまぜ座談会
(農園、社福、葬祭、住民、市議、病院、行政等)



大学連携
(空き家前夜調査)

※福祉のキーパーソンが異なる分野を知り、新たに発見・気づき、アプローチが広がるのが重要



第2回現地調査
中間発表会

第1回現地調査で得られた知見を踏まえ、設計事務所と連携し各町域で1町ずつ確認し、具体的な調査内容に合わせた調査を実施した。調査内容は家の実況、写真撮影、現地調査のやりかたの紹介などである。調査終了後、豊後大野市協議会を軸に、各町域協議会を立ち上げ、ブラスカッションした。以降、調査報告に向けて町ごとと協議を進め、協議内容や調査のブラッシュアップ、確認および実施の進捗を報告した。

協議会活動実績

令和5年度 豊後大野市居住支援協議会取組実績(2)

※転載禁止

2. 活動実績

居住支援ネットワーク

11月2日 ネットワーク会議 (R5中間報告)
12月1日 NBU連携成果発表会
(地域づくり・空き家活用)
12月2日～12月10日 成果展(パネル・模型展示)@緒方町
2月17日・18日 成果展@iichiko総合文化センター(NBU主催)

(NBU連携事業)

<input type="checkbox"/> 方針打合せ	全2回(4月～5月)
<input type="checkbox"/> 水先案内会議	全4回(6月～8月)
<input type="checkbox"/> 緒方フィールドワーク	全2回(7月～9月)
<input type="checkbox"/> 地区別活動(馬場地区)	9月 オンライン
<input type="checkbox"/> 地区別活動(中野地区)	10月 夜間視察
<input type="checkbox"/> 空き家活用提案報告書	1月末
<input type="checkbox"/> 次年度打合せ	2～3月

協議会周知・広報

6月8日 広報部会(第1回)
7月13日 広報部会(第2回)
8月31日 広報部会(第3回)
9月20日 広報部会(第4回)
10月13日～10月19日 豊後大野市

▼パンフレット 10,000部
▼ポスター 100枚
▼チラシ 1,000枚
▼ホームページ 11月公開
▼SNS 1月公開



事例報告・視察対応

5月16日 大分県居住支援法人研修会事例報告
5月17日 厚生労働省現地視察対応
5月26日 宮崎県市町村居住支援協議会
設立に係る研修会 事例報告
7月31日 厚生労働省 生活困窮者自立支援制度ニュースレター
第40号 豊後大野市の取組インタビュー
8月16日 日出町居住支援協議会設立準備のための視察対応
9月29日 臼杵市居住支援ネットワーク会議 事例報告
10月20日 居住支援に関する九州各県合同研修・意見交換会出席
11月24日 居住支援協議会九州サミットinおむた 事例報告

ネットワークの拡大・連携

10月12日 社会医療法人関東会意見交換
10月23日 清川町支え合いのまちづくり仕掛人会意見交換
10月30日 「支え合いのまちづくり」仕掛人会議参加
11月16日 高齢者拠点づくりJAおおいた相談
12月7日 保護司会情報交換会
1月11日 豊肥地区ネット
ワーク事務局会議
1月12日 民生委員への情報
提供
2月～3月 居住支援関係者
マップ作成&ヒアリング



豊後大野市建設課・社会福祉法人偕生会

まとめ～居住支援に必要なこと～ 豊後大野市居住支援協議会共有事項

- 信頼関係の醸成が最優先。
- 市町村は**中心的存在**。民間団体や関係機関との繋がり・場・ひとづくりの心臓部。
県は全体の**黒子役**。全体の調整やバランス取りが任務。
- 動き出しは**市町村**もしくは**県**で**引っ張る**しかない。
- 自己判断で**枠や制限を設定しない**。
- 出来ない理由を言わない、**どうすれば出来るか考え実践**する。
- やるからには、**覚悟**を持って続けること。
- 自分の出来る事には**限界**があるので、**人に頼る**、助けてもらう。妙なプライドを捨てる。
- **キーマン(キーパーソン)**を見つけ、中心となって進める。
- 準備万端はあり得ない。今困っている人のために**今動く**。

自分ごと

～いずれ確実に自分自身が要配慮者になることを想像する。

共感力・想像力

～自分以外の誰か(例えば家族や友人)のためにという思い。

自分の役割

～自分に出来ることを“一つ”持ち寄る。

